闘え！商大　SHODAI SPORTS　商大スポーツ　FREE

夢の舞台へ駆けあがれ！



橋本 ドラ2 中日
大西 ドラ4 ヤクルト
小野寺 育成1 阪神

2019プロ野球ドラフト会議を見守る会
10月17日　大阪商業大学ラビックホール

硬式野球部

秋季リーグ戦で連勝記録を更新し、さらに今年度のドラフト会議にて3名のプロ野球選手が誕生した大商大。華やかなメンバーがそろう中、11月15日に行われた明治神宮野球大会で1回戦負けを喫してしまった。連勝のリーグ新記録樹立という素晴らしい結果もあったが、全国大会では惜しい結果で終わった。

秋季リーグ戦

8月31日から始まった関西六大学野球秋季リーグ戦。昨年の秋から連盟記録を更新中だった連勝が、大阪経済大に敗れ24で止まった。試合を終えた主将・笹治健汰（経営4・近江）は「連勝記録を伸ばすために戦っているのではなく、日本一を目指して勝ち続けている」と熱く語った。大阪経済大には敗れたものの左腕・橋本侑樹（公共経営4・大垣日本大学）が京都産業大との試合でリーグ9年ぶり9人目となるノーヒットノーランを達成し、2季ぶり8度目（旧リーグ含む）の優勝に花を添えた。

ドラフト会議

10月、東京都内で「2019プロ野球ドラフト会議」が行われた。本学のパブリックビューイングでは多くの野球部員や在学生が見守る中、まず名前を呼ばれたのは中日ドラゴンズから2位指名を受けた左腕・橋本だった。続いて、右腕・大西広樹（公共経営4・大商大）がヤクルトスワローズから4位で指名を受けた。そして、小野寺暖（商4・京都翔英）が阪神タイガースから育成ドラフト1位指名を受け、今年も昨年に続き複数のプロ野球選手が大商大から生まれた。この時選ばれた気持ちを橋本は「自分を2位評価で選んでいただいてうれしい」と笑顔で振り返った。また大西は「指名していただいてうれしいです。ヤクルトスワローズで活躍したい」と素直な気持ちを語った。最後に小野寺は「育成で選ばれてとてもホッとしています。早く1軍に上がって頑張りたいです」と熱く語りうれし涙を浮かべた。プロ野球選手への夢をつかみとった3人の今後の活躍が楽しみだ。

明治神宮大会

11月15日から始まった明治神宮野球大会。大商大は、関西5連盟第2代表として出場した。1回戦の相手は北海道2連盟代表の東海大札幌キャンパス。大商大の先発右腕・大西は初回ノーアウト満塁のピンチを迎えるもなんとか切り抜け1点に抑えた。2回から継投の左腕・橋本が後続を断ち6回まで0点に抑えるも、7回に追加点を許し、打線が突破口を見いだせないまま0-2で1回戦敗退となった。神宮大会を振り返って主将・笹治は「自分たちは日本一を掲げて頑張ってきたが、相手チームも同様で、自分たちが力負けしたことは足りない何かがあった」と語った。神宮大会では惜しい結果となったが、多くの実績を残した大商大の日本一への挑戦はこれからも続く。文（山口達也／公共経営3・岡山県作陽）





「関西六大学野球秋季リーグ戦」
優勝＜9勝2敗＞

最優秀選手賞	大西 広樹（公共経営4・大商大）
最優秀投手賞	大西 広樹（公共経営4・大商大）
ベストナイン（外野手）	植田 匡哉（経済4・汎愛）
担当記者クラブ賞	橋本 侑樹（公共経営4・大垣日本大学）
特別賞ノーヒットノーラン達成	橋本 侑樹（公共経営4・大垣日本大学）

「関西六大学野球秋季新人戦」
3位

「第50回記念明治神宮野球大会」
1回戦敗退

※文中人名後の（　）内は、所属学科学年・出身高校

第24号
1面　硬式野球部
2面　空手道部　準硬式野球部　卓球部
3面　バスケットボール部　ソフトテニス部　サッカー部
4面　ボクシング部　日本拳法部　ウエイトリフティング部

秋季リーグ戦 3位



阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦
8月17日～10月19日　久宝寺球場他

「阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦」
3位＜6勝2敗1分＞

ベストナイン（三塁手）	玉置 翔太（経営2・日本文理）
打点王	玉置 翔太（経営2・日本文理）
ベストナイン（遊撃手）	松山 豪大（公共2・立正大学淞南）
盗塁王	松山 豪大（公共2・立正大学淞南）

準硬式野球部

新チームで挑んだ阪神六大学準硬式野球秋季リーグ初戦、勝って勢いをつけたい大商大は、大阪工業大に8点差の大差をつけて快勝し、好調の滑りだしを見せた。その後、引き分けを挟んで4連勝と突き進んだが、6戦目を敗北、7戦目は白星としたが、8戦目を敗北し優勝を逃した。しかし、3位決定戦で勝利して惜しくも3位の成績を収めた。主将の田中啓太（経済3・奈良大学附属）は、「来年は、全日本選手権に出場できるように全力を尽くしたい」と話した。来季こそリーグ優勝し、関西選手権に出場、さらには全国大会出場を果たしてほしい。

文／東野圭一郎（経営1・福泉）

全関西男子団体組手 3位



第62回全関西大学空手道選手権大会
10月6日　大商大総合体育館アリーナ

空手道部

10月6日、大阪商業大学総合体育館で行われた第62回全関西大学空手道選手権大会。大商大空手道部は、昨年3位の悔しさを力に変え団体組手1部に挑んだ。初戦、大阪体育大に対し3-2と僅差で勝利を手にした大商大は、2戦目天理大学に一進一退の攻防を繰り広げ引き分けとなり判定の結果、優勢勝ちで勝利した。この勢いのまま3戦目近畿大との準決勝に挑んだが、3点を取られ敗北した。大商大空手道部は、昨年同様16チーム中3位という悔しい結果だったが、個人賞では田中雄吏（経済1・浪速）が優秀選手に選ばれ幕を閉じた。この大会で久しく決勝の舞台から遠ざかっている大商大は、来年こそ決勝進出を果たし、優勝をつかみとってほしい。これまでの悔しさを晴らす活躍を期待する。

白石雄暉（経済2・星翔）

来年こそ頂点へ

「第11回関西学生空手道オープントーナメント」

男子組手シニアクラス	ベスト16	冨永 翔真（商1・京都外大西）
男子組手エクセレントクラス	ベスト16	山下 大幹（経済4・浪速）
女子組手シニアクラス	1回戦敗退	新山 美紗都（公共2・鹿児島工業）
	1回戦敗退	土岡 亜緒衣（商1・華頂女子）

「第62回全関西大学空手道選手権大会」

男子団体組手1部	3位
男子1部優秀選手	田中 雄吏（経済1・浪速）

「第63回全日本大学空手道選手権大会」

男子団体組手	ベスト16

「第86回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）関西予選」

男子ダブルス	3回戦敗退	香川 敬（経営2・鳥取敬愛）
		新井 統也（公共1・近畿大学附属広島）
男子シングルス	4回戦敗退	新井 統也（公共1・近畿大学附属広島）

「第53回会長杯争奪卓球大会（団体の部・個人の部）」

男子団体	優勝	
男子ダブルス	4回戦敗退	北川 大地（公共1・興國）・柴原 直希（公共1・添上）
	4回戦敗退	香川 敬（経営2・鳥取敬愛）・新井 統也（公共1・近畿大学附属広島）
男子シングルス	ベスト8	大迫 辰弥（経済1・浪速）
	ベスト16	北川 大地（公共1・興國）

卓球部

第53回会長杯争奪卓球大会、男子団体の部で大商大はシード枠として出場した。初戦は、京都教育大に3-1で勝利。その勢いのまま難なく2戦3戦と勝利し、決勝の舞台に上がり阪南大との対戦となった。最初のダブルスで1点を失うも、その後調子を取り戻し、シングルスで3点を奪取し勝利をつかみ優勝という好成績を収めた。また、個人の部においてダブルスでは、最高成績が4回戦敗退であったが、シングルスでは大迫辰弥（経済1・浪速）がベスト8の成績を収めた。今後は、さらに個々の力を発揮し、チーム力を高めリーグ昇格を果たしてほしい。

文／加藤都（商2・和歌山北）

会長杯争奪卓球大会 男子団体 優勝



第53回会長杯争奪卓球大会（個人の部）
11月9日　近畿大学記念会館

体育会本部 NEWS

第70代体育会本部の新役員がついに決定！
今回は謎に包まれた3人の私生活を暴いていくっ！！
企画・文／東口瑠泉（経営2・和歌山商業）



副委員長
室井 梨乃
（経営2・五條）
①Made in Raga-sa
②スーパー銭湯（布施）1200円
③自分でできることを探し、委員長を支えていきます！

委員長
安井 詩織
（公共2・北摂三田）
①Sumika、アイビーカラー
②学習塾講師 1000円
③居心地のいい部活を作っていきます。

副委員長
千﨑 公輔
（経済1・桜宮）
①King gnu
②映画館（難波）1030円
③分からないことも多いですが頑張ります。

新委員長・安井詩織に聞いてみた！

「これからの体育会本部未来図」

私・委員長と副委員長1人が2年生、もう1人の副委員長が1年生で就任し、今までに例のない新役員となりました。この3人で体育会本部を引っ張っていき、さまざまな活動を通してクラブ生をこれまで以上にサポート、応援できるよう、体育会本部一同精一杯頑張ります。まだまだ未熟ですがこれから1年間よろしくお願いします。

意外と みんなが知らないトレーニング!? ボクシングの減量について



今回は、ボクシングの減量について全国大会に出場する選手にインタビューしました。（人によって期間等違いがある。）企画・文／千﨑公輔（経済1・桜宮）

2～3kg落とす場合

◎3週間前から食事の量だけ減らす。
◎1週間前から〈水抜き〉を行う。

7～8kg落とす場合

◎2カ月前から昼は、スタミナをつけるため炭水化物とフルーツ、夜は野菜を大量に食べ満腹感を得る。
◎1週間前から〈水抜き〉でさらに落とす。

水抜きとは？
水分を摂らず、体の水分を出して少しでも体重を落とす減量方法



★どちらの場合も、毎朝体重を量り記録することも大事。

その他のクラブ 主な大会結果

（2019年7月26日～12月1日）

◆合気道部

「第50回全日本学生合気道競技大会」

乱取競技男子団体戦	1回戦敗退	
乱取競技男子個人戦	1回戦敗退	山本 広大（経済3）
	1回戦敗退	西田 亘希（経済3）
	1回戦敗退	中村 豊茂（経済3）
	2回戦敗退	高松 祥平（経営4）
演武競技男子対徒手の部		
予選敗退		高松 祥平（経営4）・西田 亘希（経済3）
演武競技男子対武器の部		
予選敗退		山本 広大（経済3）・芳仲 雄大（公共2）

「第39回関西学生合気道新人競技大会」

乱取競技男子個人戦	2回戦敗退	西田 亘希（経済3）
	2回戦敗退	木田 龍樹（商2）
演武競技男子対徒手の部		
決勝戦	ベスト8	高雄 羽聖（商2）・芳仲 雄大（公共2）

◆カヌー部

「第55回関西学生カヌー選手権大会」
男子K-1　200m　準決勝戦5位　木下 駿（商1）

◆剣道部

「第67回関西学生剣道優勝大会」
男子団体　1回戦敗退

「第32回関西学生剣道新人大会」
男子団体　1回戦敗退

◆柔道部

「第38回関西学生柔道体重別選手権大会」

60kg級	ベスト16（3回戦敗退）	泉屋 天覇（公共2）
66kg級	ベスト16（4回戦敗退）	亀田 蓮（公共1）
81kg級	ベスト16（4回戦敗退）	芳村 勇（公共経営4）
100kg超級	ベスト16（3回戦敗退）	佐藤 朱莉（経営3）

「男子21回全日本学生柔道体重別団体優勝大会」
1回戦敗退

「第52回大阪府下大学対抗柔道大会」
男子団体1部　6位（2部降格）

「第13回大阪学生柔道体重別大会」

男子60kg級	2回戦敗退	泉屋 天覇（公共2）
男子60kg級	2回戦敗退	小泉 和希（公共経営3）
男子66kg級	ベスト8	亀田 蓮（公共1）
男子73kg級	2回戦敗退	井上 壱聖（公共2）
男子81kg級	2回戦敗退	小橋川 寿紀（経済3）
男子90kg級	2回戦敗退	村上 涼介（経済1）
男子100kg超級	ベスト8	吉本 英司（公共1）

◆水上競技部

「第93回関西学生選手権水泳競技大会
兼第95回日本学生選手権水泳競技大会関西支部予選会」

男子3部200m背泳ぎ	タイム決勝4位	小島 慎也（公共1）
男子3部400mフリーリレー	タイム決勝14位	
岩本 凌一（経済4）・栄田 遼希（経営2）・表 航（経営3）・元道 憲伸（経営3）		
男子3部400mメドレーリレー	タイム決勝14位	
小島 慎也（公共1）・岩本 凌一（経済4）・表 航（経営3）・栄田 遼希（経営2）		

◆日本拳法部

「第23回西日本学生拳法選手権大会」
男子団体1部　予選リーグ敗退

「日本拳法第32回全国大学選抜選手権大会」
男子団体　ベスト8

「第20回西日本学生拳法個人選手権大会」

男子参段以上の部	ベスト8（3回戦敗退）	上田 稜也（経済1）
男子弐段の部	ベスト8（4回戦敗退）	中倉 翔太（経済1）
	3回戦敗退	野川 拓真（経営1）
男子初段の部	準優勝	友滝 大雅（公共1）
	2回戦敗退	眞野 篤輝（経済3）
男子段外の部	2回戦敗退	平 裕太（経済3）

◆ボウリング部

「第58回関西学生ボウリング選手権大会」

男女混合2人チーム戦	5位	
菊池 将真（経営3）・山﨑 陸斗（商2）		
男女混合3人チーム戦	6位	
菊池 将真（経営3）・堂脇 翔太（公共2）・山﨑 陸斗（商2）		
男子5人チーム戦	4位	
山﨑 陸斗（商2）・大西 貫太（経営3）・宮本 倖樹（経済2）・堂脇 翔太（公共2）・菊池 将真（経営3）		
女子2人チーム戦	3位	松原 多恵（商3）・黒瀬 心（経営1）
男子マスターズ戦	10位	堂脇 翔太（公共2）
	20位	菊池 将真（経済3）
女子マスターズ戦	6位	松原 多恵（商3）

「第42回関西学生オープンボウリング競技大会」

男子団体戦	1回戦敗退	
男女混合5人チーム戦	3位	
菊池 将真（経営3）・宮本 倖樹（経済2）・田中 海斗（経営2）・山﨑 陸斗（商2）・堂脇 翔太（公共2）		
男子シングルス戦	準優勝	堂脇 翔太（公共2）
	7位	宮本 倖樹（経済2）
女子シングルス戦	8位	黒瀬 心（経営1）

◆バレーボール部

「関西バレーボール大学男女選手権大会」
男子　3位

「第72回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会」
トーナメント戦　1回戦敗退

◆ライフル射撃部

「第66回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会」

10mS60MW	5位	廣橋 詩音（経営2）
10mS60MW	65位	林 壱剛（経営3）

「第45回全関西ライフル射撃新人戦」

10mS60M	6位	廣橋 詩音（経営2）

◆陸上競技部

「関西学生陸上競技種目別選手権大会兼第41回関西学生混成選手権大会」

男子100m	予選6組	7位　鷲見 元輝（経営3）
男子1500m	予選1組	14位　柑本 泰智（公共2）
男子4×100m	予選4組	5位
中村 将貴（経営1）・北村 嘉洋（経済3）・西中 隆斗（経営4）・鷲見 元輝（経済3）		

▶全結果は大商大課外活動WEBページ「News&Topics」をチェック！ https://ouc.daishodai.ac.jp/club/

※文中人名後の（　）内は、所属学科学年・出身高校

関西学生リーグ戦

3部リーグ 優勝

〈10勝1敗〉



「関西学生バスケットボールリーグ戦」
3部　優勝＜10勝1敗＞　（2部昇格）

「関西学生バスケットボール新人戦」
ベスト4

関西学生バスケットボールリーグ戦
8月31日～ 10月27日　大商大総合体育館アリーナ他

バスケットボール部

昨年、屈辱の3部降格となった大商大バスケットボール部。2部復帰を目標に関西学生バスケットボールリーグ戦に挑んだ。初戦、大阪府立大との試合を白星スタートとすることができ、この勝利で勢いをつけ6連勝を重ねた。7戦目、和歌山大に敗北を喫したが、臆することなく8戦目に挑み、再び勢いを取り戻し連勝を重ねることができた。結果、10勝1敗で終わり、3部リーグ1位となり、自動昇格となった。1年でスピード復帰を果たした大商大バスケットボール部。来季はこの勢いのまま2部での活躍と1部昇格を期待する。

文／白石雄暉（経済2・星翔）

秋季リーグ戦 男子2部

3位

〈3勝2敗〉



関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦
9月14日・15日　マリンテニスパーク・北村

ソフトテニス部

関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦が今年もやってきた。前回のリーグ戦では1部昇格を目標に挑んだが、結果は2部5位という悔しさが募るものとなった。今季こそはと挑んだ男子2部。初戦は大阪経済大との試合で4-1という結果で好調な滑り出しであったが、第2・第3試合では大阪成蹊大と近畿大にそれぞれ2-3の黒星となった。迎えた第4試合は大阪体育大と対戦し4-1で見事に勝利した。その勝ちまま流れをつかみ、最終試合桃山学院大に対し3-2で勝利し、全体の結果は3位だった。来季こそは、成長した姿を見せてくれるだろう。

文／大﨑恒太朗（公共経営3・大商大堺）

「第73回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」
男子の部　2回戦敗退

「第61回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会」
男子の部　3回戦敗退　寺本 一裕（経営2・紫野）

「関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦」
男子2部　3位＜3勝2敗＞

「第74回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会」
男子の部　2回戦敗退　水谷 幸一（公共2・綾羽高等）・山田 晃市（経済3・乙訓）
2回戦敗退　砂本 舜裕（公共1・神辺旭）・横井 祐紀（公共2・三重）
2回戦敗退　三崎 楓真（公共1・高瀬）・藤田 凌羽（経営3・西城陽）
2回戦敗退　見子 翔太（経営1・紫野）・門田 陸人（公共1・広島翔洋）

入替戦敗れ降格

2部Aリーグ通年

10位

〈4勝12敗6分〉



第97回関西学生サッカーリーグ（通年）
4月7日～ 11月23日　大商大第1グラウンド他

「第97回関西学生サッカーリーグ（通年）」
2部Aリーグ　10位＜4勝12敗6分＞

「第97回関西学生サッカーリーグ（2部A-2部B入替戦）」
敗北（2部B降格）

サッカー部

前期リーグは8位という惜しい結果で終えた関西学生サッカー2部Aリーグ。後期リーグでは巻き返しを誓い、チーム全体が上位進出を意気込みリーグ戦に挑んだ。だが、初戦からうまく勝ち点3を取りきることができず後期リーグでは、苦しい試合が続き上位進出はならず、最下位の12位まで後退してしまった。この結果により通年10位という悔しい結果でリーグ戦を終え、入替戦を余儀なくされた。対戦相手は、追手門学院大。試合結果は1-3という結果に終わり、惜しくも2部Bリーグへ降格となってしまった。来季のリーグ戦に向けて、主将の平田英明（公共経営4・長崎総合科学大学附属）は、「自分たちは昇格することができなかったので、後輩たちにはチーム一丸となり昇格を目指して一戦一戦しっかり結果を残して頑張ってほしい」と語った。来季のリーグでは前後期ともに初戦から勝利を重ね結果を残し、リーグ優勝と自動昇格する姿を見せてほしい。

文／西尾遥大（経済1・金剛）

学生記者大募集中！

スポーツ観戦が好きなあなた、
一緒にクラブ生の応援に行きませんか？
大学で何かに挑戦したいあなた、
一緒に「商大スポーツ」を作りませんか？

お問い合わせは
体育会本部まで
☎06-6788-7052
部室：総合体育館（北側）1階

その他のクラブリーグ戦結果　（2019年8月30日～12月1日）

アメリカンフットボール部

関西学生リーグ
Division4（4部）Cブロック
5大学合同チーム 6位 〈0勝5敗0分〉
大商大・吉備国際大・大阪経済法科大・大阪芸術大・岡山理科大

硬式庭球部

関西大学対抗テニスリーグ戦
男子5部予選リーグEブロック **1位** 〈4勝0敗〉
男子5部決勝トーナメント　1回戦敗退

卓球部

秋季リーグ戦 男子3部B 〈4勝1敗〉 **2位**



バレーボール部

秋季リーグ戦
男子1部 12位（2部降格）
〈Bブロック1勝4敗・下位リーグ1勝4敗〉

ボウリング部

秋季リーグ戦
男子団体 **3位** 〈6勝4敗〉
女子団体 **4位** 〈0勝10敗〉
男子部個人 **9位** 山﨑 陸斗（商2）



フィールドホッケー部

秋季リーグ戦 〈0勝3敗1分〉 **5位**
男子3部
※近畿大との合同チームで出場



ラグビー部

関西大学リーグ 〈0勝3敗0分〉
D（4部）2リーグ 4位
Dリーグ順位決定戦 8位

※文中人名後の（　）内は、所属学科学年・出身高校

全日本大学王座決定戦
頂点ならず敗北
敢闘賞 細野



第73回全日本大学ボクシング王座決定戦
12月26日墨田区総合体育館（東京都）

ボクシング部

関西学生ボクシングリーグ戦を4勝1敗で優勝した大商大は、関東の王座を倒すべく王座決定戦の地、東京に乗り込んだ。王座決定戦の舞台は5年ぶり4度目。対戦相手は関東学生ボクシングリーグ戦で初優勝した東洋大学。どちらが勝っても初優勝となる戦いである。王座決定戦はライトフライ級からミドル級まで計11試合が行われる。試合前のインタビューで主将の池側純（公共経営4・興國）は、「相手は非常に強いが一人ひとりいつものスタイルで戦えばかなわない相手ではない。集大成の試合なので勝ちにいきます」と意気込みを語った。試合は巧みな技と速さと強いスタミナで第1試合より東洋大学のペースで進む。第6試合、加藤一輝（公共1・札幌白陵）が第1ラウンドより果敢にパンチを繰り出し勢いよく攻めるも、第2ラウンドで東洋大の主将である木村蓮太朗選手のストレートに押され、木村選手のペースに。第3ラウンドでレフェリーストップがかかり、6連敗となり、この時点で東洋大の優勝が決定した。その後も東洋大のペースで試合が進み、0対11で完敗。試合後、池側は「一人ひとり頑張ったが、技術も気持ちも相手が勝っていた。ちょっとの差だと感じたが、それがこの結果なので、これからもっと頑張っていかないといけない。しかし、できるだけのことはやったので悔いはありません。後輩に言いたいことは、関西での優勝は当たり前で、ぜひ日本一を目指して頑張ってもらいたい」と語った。東洋大のエース、堤駿斗選手と対戦した山原武人（公共2・興國）は、「体幹の強さ、パンチの速さ、全てが相手の方が1枚も2枚も上手だった。この貴重な経験を活かしもっと精進したい。来年はこの舞台に戻り、必ず日本一を取ります」と力強く語った。

文／篠田園子（課外活動支援室）



池側

「第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）」
成年男子ライト級　ベスト8　加藤 一輝（公共1・札幌白陵）
成年男子バンタム級　3位　池側 純（公共経営4・興國）

「第89回全日本ボクシング選手権大会
（燃ゆる感動かごしま国体ボクシング競技リハーサル大会）」
60kg級　準優勝　山原 武人（公共2・興國）
60kg級　3位　中谷 七都（経営2・京都廣学館）

「第73回全日本大学ボクシング王座決定戦」
敗北
ライトウエルター級　敢闘賞　細野 勝梧（公共2・札幌工業）

全日本2部 団体 準V
1部昇格！



第65回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会2部
11月1～3日　はびきのコロセアム（左から3人目・一瀬、4人目・東野）

ウエイトリフティング部

11月1日から3日間、第65回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会が開催され大商大ウエイトリフティング部が、今年も大いに存在感を発揮した。初日、55㌔級で東野凌大（公共経営4・徳島科学技術）が2位とトータルで57㌔の差をつけて優勝するという順調な滑り出しを見せた。流れに乗ったチームは続く2日目、81㌔級で一瀬駿（経済4・星槎国際）が優勝すると、3日目も96㌔級で塚原湧斗（経済4・大阪産業大学附属）が優勝するという快挙を見せた。チームとしても2位という好成績を残し、来季からは1部に昇格することが決まった。これに対し、主将の一瀬は、「今後、後輩たちは1部で競わなければならず、今の実力では厳しいが、伸びしろのある人ばかりなのでぜひ頑張ってほしい」と語った。

続く12月の関西学生ウエイトリフティング選手権では、東野がスナッチの3回目の挑戦で114㌔という日本新記録に挑戦したが失敗に終わった。しかし、2回目で自身の大学記録110㌔を上回る111㌔を差し上げ、クリーン&ジャークでも135㌔の挙上に成功し、トータルでも大学新記録を樹立した。団体では、優勝した近畿大に2点及ばず準優勝に甘んじた。伝統と、思いやりと礼節を重んじる大商大ウエイトリフティング部、失意を乗り越え新たな歴史に向けて期待が高まる。

文／山口祐史（経営1・神港橘）

「第55回西日本学生新人ウエイトリフティング選手権大会」
96kg級　3位　和久野 友暁（公共1・安曇川）

「第13回西日本学生女子新人ウエイトリフティング選手権大会」
59kg級　準優勝　弓岡 都菜子（公共1・須磨友が丘）
64kg級　準優勝　佐川 未来（公共1・板野）

「第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）」
成年男子55kg級　準優勝　東野 凌大（公共経営4・徳島科学技術）

「文部科学大臣杯第65回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会2部」
55kg級　優勝　東野 凌大（公共経営4・徳島科学技術）
81kg級　優勝　一瀬 駿（経済4・星槎国際）
89kg級　3位　吉川 敦啓（公共2・須磨友が丘）
96kg級　優勝　塚原 湧斗（経済4・大阪産業大学附属）
109kg級　3位　田神 一真（公共2・加世田常潤）

「第67回関西学生ウエイトリフティング選手権大会」
男子団体　準優勝
男子55kg級　優勝　東野 凌大（公共経営4・徳島科学技術）
男子55kg級　準優勝　山口 颯太（経済1・大阪産業大学附属）
男子61kg級　準優勝　吉﨑 優太朗（公共経営4・明桜館）
男子89kg級　準優勝　吉川 敦啓（公共2・須磨友が丘）
男子96kg級　優勝　塚原 湧斗（経済4・大阪産業大学附属）
男子109kg級　準優勝　田神 一真（公共2・加世田常潤）
女子49kg級　準優勝　板東 友香（公共経営3・板野）
女子64kg級　優勝　弓岡 都菜子（公共1・須磨友が丘）
女子64kg級　3位　佐川 未来（公共1・板野）

全日本学生個人 ベスト8
悔しさを原動力に
上田



第35回全日本学生拳法個人選手権大会
10月20日　名古屋市千種スポーツセンター

日本拳法部

10月20日に名古屋市千種スポーツセンターで行われた第35回全日本学生拳法個人選手権大会。この大会に大商大からは8人の選手が出場した。その中で最も素晴らしい活躍をみせたのは上田稜也（経済1・大商大堺）だ。1回戦から3回戦まで順調に勝ち進んでいき、4回戦では、小林幸司選手（京都産業大）との戦いを見事な勝利で収め、準々決勝へと駒を進めた。深町雅也選手（明治大）との対戦はとても厳しい戦いとなった。積極的に技を仕掛けるも点を取ることができないまま試合は進んでいく。激しい攻防の末、面突きを受けてしまい、1本を取られてしまった。そこから巻き返しを試みたが、0-2で敗北した。悔しい結果となったが、ベスト8という素晴らしい成績で幕を閉じた。上田はこの試合を「面突きで2本を取られたことで力の差を痛感した」と悔しそうに振り返った。また、「さらに上を目指すために日々全力で練習するしかない」と語った。今大会で得た経験を活かし、ますます活躍してくれることを期待したい。

文／安井詩織（公共2・北摂三田）

「第43回日本拳法総合選手権大会〈第59回全日本拳法男子個人選手権大会〉」
ベスト16　小土井 壱貴（公共1・東大阪大学柏原）

「第35回全日本学生拳法個人選手権大会」
男子の部　ベスト8　上田 稜也（経済1・大商大堺）
ベスト16　大西 晴陽（経済3大商大堺）
ベスト16　小土井 壱貴（公共1・東大阪大学柏原）

「第64回全日本学生拳法選手権大会」
男子団体　ベスト16

関西インカレ 準優勝
男子55kg級トータル 大学新記録樹立!!
東野
V58ならず



第67回関西学生ウエイトリフティング選手権大会
12月13日・14日　はびきのコロセアム

我楽多

▼2年生になり2回目の商大スポーツとなりました。新聞の記事を書くことに慣れ始め、文章力も徐々に上がっているので、たくさんの人に見てほしいと思います。また今年からは広報部の部長となったので、これからも頑張っていきたいと思います。（白石）

▼準硬式野球の記事を担当したが、野球用語が難しくとても苦労しました。先輩たちの原稿はとても文章が整っていて、自分もそういう文章を書けるように努力したいと思いました。そして、クラブ生の活躍を知ってもらえるように頑張ります。（東野）

▼広報になって最初の仕事で、初めて記事を書きました。他の人より遅れて広報に入ったので分からないことばかりでとても苦労しました。でも、たくさんの先輩に教えていただいたり、一緒に手伝っていただき、なんとか記事を完成させることができました。今回の貴重な経験を自分の力にし、今後も頑張っていきたいです。（西尾）

▼初めて新聞の記事を書くにあたって、さまざまな新聞を参考にしました。参考にした新聞の文章の内容はどれも分かりやすく表現も多様で読んでいて面白かったのですが、自分で考えた文は、分かりにくい上に表現もつまらなかったので残念でした。今後は、もっと分かりやすく、楽しんで読んでもらえるような文章を作成したいです。（山口祐）

闘え！商大 商大スポーツ SHODAI SPORTS
発行編集　大阪商業大学 学生生活課 課外活動支援室
印刷　共同精版印刷株式会社

※文中人名後の（　）内は、所属学科学年・出身高校